

RAUMA

Hiroko Ara & Haruhiko Saga

森と草原の響き ～カンテレ& 馬頭琴コンサート



撮影：トタン舎

2019/9/24(火)

午後6時30分～8時00分(開場：午後6時)

■会場 エコーセンター2000
(エコーホール)

網走市北2条西3丁目 TEL 0152-43-3704

■入場料 無料(整理券が必要です)

■整理券配布場所 エコーセンター2000
網走市役所
北方民族博物館 各受付

問い合わせ

一般財団法人 北方文化振興協会

〒093-0042 網走市字潮見309-1 北方民族博物館内
TEL 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889

□主催/一般財団法人 北方文化振興協会

北海道立北方民族博物館

□後援/網走市、網走市教育委員会、網走市文化連盟

Profile

RAUMA ラウマ

北欧フィンランドの伝統楽器=カンテレの澄みきった響き、モンゴルの馬頭琴の哀切な調べ、そして一人二重唱ホーミー(喉歌)の神秘的な音色がひとつに溶け合い、これまでにないサウンドで幽玄な心象風景を描く。ユニット名は、歴史的木造建築がたち並ぶフィンランドの世界遺産都市 Rauma に因む。2009年の結成以来、日本各地で演奏活動を続けるほか、JPP、Sinikka Langeland、Kardemimmitなど北欧系アーティストの来日公演ではオープニングアクトもつとめる。2019年7月、1stアルバム「深い海」をリリース。

◇あらひろこ(カンテレ)

フィンランドの伝統楽器カンテレの演奏者、コンポーザー。
情景を奏でるやわらかな演奏を持ち味に、ソロのカンテレ演奏をはじめ、朗読や美術とのコラボレート、内外の様々なジャンルのミュージシャン、アーティストと共演。

◇嵯峨治彦(馬頭琴・喉歌)

さが はるひこ ばとうきん のどうた
ゴビの遊牧民馬頭琴奏者 Y. ネルグイ(モンゴル国無形文化財)から後継指名を受け伝統音楽の継承に取り組む一方、様々な音楽ユニットや演劇・舞踏など異ジャンルとの共演も多い。

2017年大瀧詠一カバーアルバム「NOMADIC VACATION」を井上鑑プロデュースでリリース。